

事業者の
復旧対応

基幹網が無事で迅速な復旧可能に、パケット網活用が今後のヒント ソフトバンク

ソフトバンクは、震災直後、携帯基地局が3786局、固定通信では「おとくライン」が約3万1000回線がサービス停止となるなどの影響を受けた。その被害状況と復旧への取り組みについて、同社にうかがった。

(取材/執筆 天野 浩徳)

ボランティア社員も含め延べ1229名が現地へ

ソフトバンクでは復旧へ向け、緊急対策本部が立ち上がり、震災発生当日に東京から応援隊を組織した。ボランティア社員も含めると、延べ1229名(技術チーム789名)が救援物資を携え現地へ向かった。「震災直後はしばらく現地との通話ができず苦慮しましたが、震災時、本社サイドでは基地局が「断」となったところはアラームが鳴るので、被害状況は把握できていました」(ソフトバンク モバイル モバイルネットワーク本部 江田紀一担当部長)。

被災地域が「広域」かつ「停電」が想定外だったという。東北エリア拠点の宮城県利府町のネットワークセンターは、震災の影響は受けたものの、通信設備自体には大きな被害はなかった。停電が続く中、通信設備は自家発電で稼働していたが、長時間の停電で燃料の追加が必要となり、全国からタンクローリーで燃料を運ぶなどして何とか乗り切った。

4月14日には携帯カバーエリアは 震災前と同等レベルまで回復

復旧へ向けた取り組みでは、被害を免れた基地局の一部は大ゾーン化してカバーエリアを拡大。基地局の伝送路が切断された箇所については、マイクロ波や衛星回線を利用して通信網を復旧させた。避難所には、移動基地局車やフェムトセルを設置して臨時基地局によりエリアを回復。固定回線については、「幸いなことに基幹網が震災による影響を受けなかったことが、その後の復旧のスピードアップにつながった」(ソフトバンク テレコム 保全運用本部 尾崎旨樹課長)と言う。

固定電話サービスやADSLサービスも影響を受けたが、設備の復旧や他ルートへの迂回工事により復旧を目指した。

このような対策によって急ピッチで復旧が進み、4月14日には、携帯電話のカバーエリア(福島原発エリア除く)が震災前とほぼ同等の状態に回復したと発表(固定回線は約95%以上まで回復)した。ただし、この時点ではあくまでカバーエリアの復旧であり、ネットワーク品質が震災前と同レベルまで回復したわけではない(その後4月末に震災前とおおむね同等レベルの品質に復旧)。

被災者への支援は、メールの無料化や請求金額の3か月分(3月～5月)全額無償化などのほか、独自の取り組みとして、宮城県庁を通じて自衛隊や小学校などにiPadやiPhoneの配布を期間限定で行っている。

一方、福島原発エリアについては立ち入り制限地域である関係で、エリア内の33の基地局は停止したままとなっている。

パケット網の活用が 今後の通信ネットワーク構築の鍵

最後に今回の震災を受け、通信ネットワークの課題について聞いたところ、「冗長化やバックアップなど、震災に強いネットワークの構築は通信キャリアとして考えていかなければいけない。また、震災直後でも規制がかからなかったパケット網の活用は、今後のネットワーク構築のヒントになるのではないのでしょうか」(ソフトバンク モバイル モバイルネットワーク本部 江田紀一担当部長)。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp